

平成23年度 第2回平田地域協議会 会議録（概要）

1. 日 時／平成23年7月8日（金）午後3時15分～午後5時
2. 場 所／平田農村環境改善センター 多目的ホール
3. 出席者／
 - (1) 1号委員（団体推薦）
奥山仁委員、阿曾智子委員、伊藤市太委員、菅原律子委員（副会長）、
堀弥志男委員、長谷部耕次委員、加藤勝子委員、庄司美智子委員、
石黒真委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・計9名
 - (2) 2号委員（識見を有する者）
阿部敬子委員、阿部彦悦委員・・・・・・・・・・・・・・・・計2名
 - (3) 3号委員（公募）
石黒由香委員、富樫文雄委員（会長）・・・・・・・・計2名
 - (4) 酒田市平田総合支所
齋藤啓一支所長、石川忠春地域振興課長、中條幸弥市民福祉課長、
佐藤政好建設産業課長、地域振興課 土田瑞穂課長補佐、
小松原毅地域振興主査兼係長、地域振興係主任 阿部光正・・・・・・・・計7名
出席者合計20名
4. 欠席届／阿曾重雄委員（1号委員／団体推薦）、
石黒均委員（2号委員／識見を有する者）
5. 傍 聴／1名
6. 次 第／
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 平田総合支所長あいさつ
 - (4) 会議録署名委員の選任

(5) 協議／平田地域ビジョン（原案）について

(6) 閉会

7. 会議録／(1) 開会

▶石川地域振興課長

(2) 平田地域協議会 会長あいさつ

▶富樫会長

皆さんこんにちは。

本日は、酒田市議会の総合支所あり方検討特別委員会より、平田地域協議会から意見を聞きたいという要請があり、いつもの場所では狭いということで農村環境改善センターに会場を設定した。地域協議会に先立って開催された総合支所あり方についての懇談会では、委員の皆さんからいろいろなご意見を出していただき、本当にありがとうございました。

今回から委員に、飛鳥中学校PTA会長である石黒真委員が加わった。飛鳥中学校における様々な課題やこれから控えている学校統合については、PTAの中でも意見の交換をしていただきながら、この地域協議会でも保護者や子育て世代の代表として、ご発言をいただきたい。委員の皆さんからも、石黒委員を暖かく迎えていただきたい。

本日の協議案件は、平田地域ビジョンについてであるが、地域ビジョンで示された課題の解消や施策の実現は、市民生活にも直結していく。委員の皆さんからは積極的なご発言をいただきたく、よろしく願い申し上げます。

(3) 平田総合支所長あいさつ

▶齋藤支所長

委員の皆様には、総合支所あり方についての懇談会に引き続いての地域協議会となり、本当にご苦勞様でございます。

6月の23日から24日にかけて、続いて30日から7月1日にかけて2回の大雨に見舞われた。地元からの連絡を受けたり、あるいはこちらで現地を見回ったりして確認したところ、被災現場は今日現在で約220カ所という膨大な数となっている。今回、位置図と現場の写真を用意したので、地域協議会終了後に委員の皆さんからも確認いただけれ

ばと思っている。

被害箇所については、すでに地元対応で水路の復旧などにあたっていただいている所もあるが、被害が甚大で箇所数も多い自治会もある。そこで昨日、小林から山楯までの自治会長さんと農地・水の関係者らからお集まりをいただき、災害復旧に向けた対応や考え方などについてご説明し、それを持ち帰って各自治会の方で関係水利組合などとの協議を行っていただいている最中である。

市が管理する道路や施設については当然市が復旧するわけであるが、市が直接管理していない農業用設備等についても、今回は被災箇所が多い状況である。その復旧について、地元負担でやるのか市の支援を受けるのか、あるいは国の補助を受けて市が復旧工事を行うといった選択もあるということをご説明し、自治会で協議した結果をご報告いただくことになっている。そのまとめを見れば市の支援分がはっきりするので、今後予算の確保といった対応を進めていきたいし、農業用水路ということで灌漑のために復旧を急がなければならない箇所もあるので、地元とも十分調整を取りながら市としてできるだけの支援を行っていきたい。

本日は平田地域ビジョンについて、これ一本での協議となっている。酒田市過疎地域自立促進計画を踏まえながら、この地域のあり様がどうあればいいのかという地域ビジョンの内容について、叩き台となる原案を提案させていただく。今後における平田地域の活性化や課題解消のため、様々なご意見を賜りたいと思っている。よろしくご意見申し上げます。

(4) 会議録署名委員の選任

▶富樫会長

会議録署名委員に、阿曾智子委員を選任いたします。

(5) 協議／平田地域ビジョン（原案）について

▶地域振興課長（資料に沿って説明）

▶菅原副会長

ビジョン3 産業の振興の所に、飛鳥中学校で行っている飛鳥ブランド事業のことが載っている。これは中学生の夢を育むという大変良い活動であり今年度も計画されているようであるが、この事業の今後の継続について飛鳥中学校には確認しているのか。

▶石川地域振興課長

飛鳥ブランド事業について、今後いつまで行おうかといったところの確

認は実は取っていない。ここで示したかったことは、これまで取り組んできた事業が評価され大きな賞を受賞したように、地域と中学校とが連携するという環境が平田地域にはあり、こうした取り組みの成果や環境を今後の施策に生かしていきたいということである。これから飛鳥中学校にも話を伺いながら、新たな特産品開発を行う環境づくりに結び付けていければということ整理したものである。

▶長谷部委員

飛鳥ブランド事業のことが出たが、これは酒田ふれあい商工会で具体的な商品となるまでの支援を行っている。この間も説明のために中学校に出向き、中学生の考えたアイデアを見せてもらったが、これが本当にそのとおりの商品となったら、平田の産業振興にもつながると思ったところである。ただ疑問として投げかけられているのは、教育が目指すべき所に経済行為というものを入れ、完成した新商品が企業の収益につながるというのは、はたして正当な路線として認めていいのかということである。教育と経済行為というもののあり方について、どのように調整を取って物事を進めていくかが課題であると思っている。

今回提案された平田地域ビジョンについて、机上の計画としてこういうことをいろいろと出されるのは結構であるが、このくらい総花的に出された場合、実現の可能性をこの地域協議会でどう整理するのが課題となる。たとえば五つのコミュニティ振興会があれば、それぞれに課題もあるはずであり、地域ごとに課題を整理して検討すべきではないか。

木材人工乾燥施設について、私が聞くところでは市の予算が3千万から4千万円ぐらい入って整備され、酒田商工会議所あたりで体制も組まれているとのことだが、あえて平田地域ビジョンに入れたということは、これは平田地域のみで木材人工乾燥施設というものを立ち上げるということか。

▶石川地域振興課長

総花的という話があった。酒田市過疎地域自立促進計画を作る際に、平田地域においてもう少し熟度が高まるまでは過疎計画に載せるのは早いと判断し、今後検討と位置付けた事業がある。それらの事業はコミュニティ振興会の会合などで出されている課題であり、そうした課題が総花的という受け止め方になるのかもしれないが、平田地域において対応していくことが必要であるという認識でいる。従って過疎計画に上げていくために、平田地域ビジョンでも位置付けながら熟度を高め、できるものから取り組みながら、地域として目指す将来像に向かっていければと思っている。

▶齋藤支所長

木材人工乾燥施設についてであるが、やはりこの地域にはこうした施設がないと地域材の利用拡大につながらないということで、今お話しされたように、今年民間の力で木材人工乾燥施設が整備されようとしている。平田地域産の木材についても、近くにできるこの木材人工乾燥施設を活用しながら、さらに利用拡大を進めていこうという考え方で記載したところである。

▶長谷部委員

過疎対策事業債を活用するには期限がある。平田地域ビジョンの中で順位を付け、今住民に必要なものは何かということで少し整理をされたらいかがか。そうすることによって我々も議論をしやすいし、地域における利用度や影響度を考えて順位付けし、過疎債の中でどれをどういう順序で、いつ頃こういった答えを出そうとしているかが示されないと、やはりなかなか難しいのではないかと。

▶石川地域振興課長

過疎対策事業債を活用できる事業にはハード事業とソフト事業があり、ハード事業は過疎計画の期間である平成28年までに事業を実施しなければならない。また今回から、ソフト事業については過疎債を活用した基金を作ることも可能となったため、さしあたって酒田市でも基金の積み立てを行っている。

この基金は、過疎計画の期間以降も活用することができる仕組みとなっている。ソフト事業については地域と協力しながら事業の熟度を高め、固まったものから優先的に過疎計画として位置付け、基金を使いながら事業を実施していきたい。ハード事業については、やはりひらた生涯学習センターの機能強化といったところの優先順位が一番高いと考えている。

▶奥山委員

3月11日の震災以降、いつどこで何が起こるか分からないという中、私たちが住む中山間部においては避難場所の確保が大きな問題となっている。ビジョン2 安全安心の地域づくりにある、災害時に孤立する危険性の高い地域について、旧分館などの施設を防災拠点や避難場所と位置付けとあるが、これは旧山元分館に対し、平成26年以降も市からの交付金を受けることができると捉えていいのか。

▶石川地域振興課長

地域の要望として、平田地域コミュニティ振興会連絡協議会でも出されている課題である。今回の震災を契機に、酒田市地域防災計画におけ

る避難場所の位置付けが見直される。中山間部においては、災害等で道路が寸断されるとコミュニティセンターにも行けなくなることが想定される。そういった場合、今の旧分館施設についても引き続き避難所としての役割が必要となるのではないかとということで載せている。

▶菅原副会長

ビジョン2 安全安心の地域づくりにある、災害時における初期対応への備えとして、自治会が資材や機材、非常食等の配備を行う際に支援を行うとあるが、これは補助事業のことか。

▶石川地域振興課長

おっしゃるとおりである。現在もその制度は立ち上がっているが、その充実を図るということである。昨年の豪雪、今年の震災や大雨を契機に、防災面での施設的な整備に加え、コミュニティ振興会や自治会の自主防災組織と消防団との連携を、いっそう強化していく必要があると考えている。

▶石黒由香委員

ひらた生涯学習センターについて、施設の充実に加え、あちこち使えなくなっている部分の補修をお願いしたい。新たに何か整備する際には、平田以外からも足を運んでもらえるような、特色のある施設内容としていただきたい。

▶石川地域振興課長

施設の拡充を考える際に、その施設を地域の皆さん方がどう運用し、うまく活用していけるが重要となる。皆さんから、こういう施設でこんなことをしたいといった具体的な案について詰めていただき、提案していただくと進めやすい。旧阿部家については、いろいろな提案や要望を受け、それを地域ビジョンにも載せている。ひらた生涯学習センターの施設整備、周辺整備については合併前からの課題であり、いつまでも検討するというのではなく、過疎計画にも位置付けて実施する方向に向かいたいと考えている。

▶石黒由香委員

私は目ん玉スポーツクラブに所属しており、そこで話し合った際、ひらた生涯学習センターに100mの全天候型レーンが欲しいという話しになった。陸上関係者からも、中学生や小学生に試合と同じようなレーンで走らせたいとの意見をもらっている。またひらた生涯学習センターで合宿するとなると、現在は1団体しか合宿ができないため、施設を整備する際には宿泊棟も増設していただくと、全天候型レーンなど運動施設との相乗効果で、さらに利用も拡大するのではないかと考えている。

▶阿部啓子委員

先ほども富樫会長から羽州湯の里線の話しがあったが、昨年の秋に平田地域と鮭川村の住民が境界に集まり、阿部市長や村長からも来ていただいで話し合いが持たれた。その際、ここに力を入れていきたいとの阿部市長からのお話もあり、羽州湯の里線について、平田が行き止まりではなく鮭川に抜けられるよう整備していただきたい。道路ができて交流が拡大すれば、鮭川村にとっても良いことであるし、酒田市全体の活性化にもつながるのではないか。その整備について、前向きに進めていただきたい。

▶佐藤建設産業課長

今のお話は、昨年に鮭川村の方で、何とか道路を整備してもらいたいという要望を県に提出する際、県と関係者らが集まって行われた話し合いのことだと思う。今年は鮭川の方を主として会を開く予定となっている。この要望は、林道ではなく県道としての整備をお願いしているものだが、ルートを選定など様々な課題もある。

▶庄司委員

私もこの羽州湯の里線ということをお聞きし、婦人会の中でも相談してこれを推そうということで、年に一度行われる市長と酒田市消費者団体連絡協議会との懇談会の際に、私が代表して阿部市長に質問させていただいた。

そうしたところ阿部市長も、鮭川の方から来るのは割と良いが酒田側はなっていないので、景色とか環境とかあんなに良い道路をあのままにしておかないで、整備してもらいたい旨県にもお願いしていただけるとのことであった。それから私もいろいろな資料を見て、早急にとはならないかもしれないが、やはりこれは皆で力を出して進めていかなければならないと思ったところである。

▶石黒由香委員

ビジョン2 安全安心の地域づくりについて、実際この間の地震の際、父が自治会長をしている関係上、あちこちの一人暮らしのお年寄りから電話で助けを求められたが、父も夫も不在でうまく対処ができなかった。いざという時にどう動くかという避難訓練を年に一度でも実施しておけば、助けを求められた際にも慌てずに対応できたのではないかと思っている。

▶石川地域振興課長

自治会ごと、あるいはコミュニティ振興会ごとに自主防災組織はあるのだが、今回のような地震の場合、やはり最初に機能を発揮するのは自

治会の自主防災組織である。今までだと、自治会の自主防災組織で年に1回訓練を実施するとなると、消火器での消化訓練がだいたいであった。今後は、高齢者など要援護者の避難誘導體制も作りながら、まず集会所へ避難する訓練から始め、学校の体育館やコミュニティセンターに避難する訓練や、炊き出しを想定した訓練を取り入れていただきたい。

▶石黒委員

炊き出し班という名簿はあるみたいなのだが、皆忘れていて、実際に地震が起きた時には対応できなかった。平田総合支所で炊き出しをやっていたらと思うが。

▶石川地域振興課長

平田総合支所では自主防災組織に対し、このような訓練を実施してみてもといった提案は行いが、炊き出しはしない。自治会ごと、地域の実情に合った対応や備えについて相談しながら訓練を実施していただきたいし、その際のアドバイスはこちらで行いたい。

▶加藤委員

ビジョン3 産業の振興にLED化を進めるとあるが、私の家でもLEDにしたところ、本当に安くなるので進めていただきたい。

▶石川地域振興課長

具体的には、飛鳥大通りの街路灯をLED化できないかと考えている。今は震災の関係もあって間引き点灯しているが、節電や維持費の削減も含めて検討していきたい。また全市的にも、防犯灯を更新する際にはLED化していく方向であり、それも含めてここに載せている。

▶阿部委員

平田地域ビジョンに入れるべきことか分からないが、平田地域にも多くの伝統芸能が残っており、地域としてその維持や保存に取り組んでいかないと途切れてしまう。地域の課題でもあり、項目として地域ビジョンに入れていただけないか。

▶石川地域振興課長

実はこの原案を作りながら、伝統芸能をどこかに入れなければだめだということで大い悩んだ。今回いただいたご意見を、地域ビジョンに追加したい。

(6) 閉会のあいさつ

▶菅原副会長

本日は、総合支所の在り方検討特別委員会と平田地域ビジョンについて、委員の皆様より貴重なご意見をいただきましたこと、非常にありが

たく思っております。これからも委員としての意識を高め、この地域協議会に臨んでいただければと思っております。今日は大変ご苦勞様でした。